

家電製品PLセンター インフォメーション

《2024年5月》

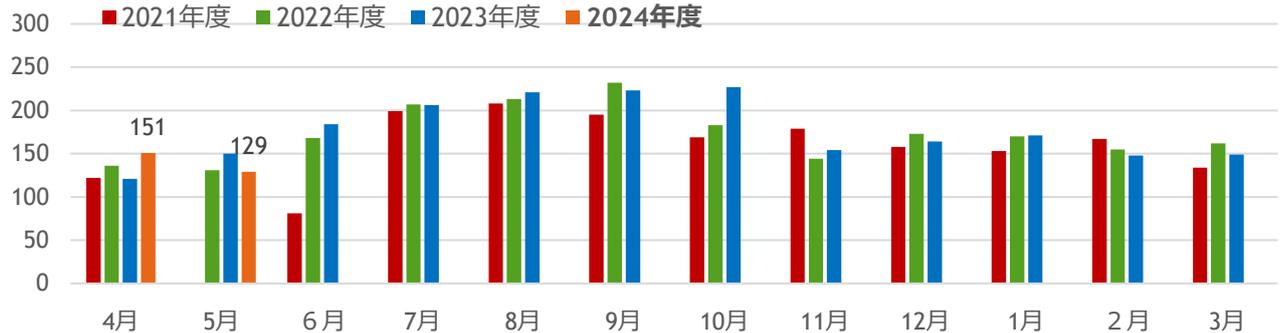
1. 相談等受付概況

*相談等受付件数 : 2024年5月 129件(前年比86%)

5月度の相談受付件数は129件(前年比86%)でした。

製品別では、エアコンが16件と最も多く、次いで冷蔵庫が15件、洗濯機が13件でした。

(件)



*相談等受付区分別件数 : 2024年5月

(件)

相談内容 相談者	相談内容						合計	前年比	構成比
	拡大 損害事故	非拡大 損害事故	損害事故 相談	一般 相談	相談 案件計	斡旋・裁定 案件			
一般消費者	6	2	8	79	87	0	87	79%	67%
事業者	0	0	0	1	1	0	1	-	1%
行政	2	1	3	34	37	0	37	97%	29%
その他	0	0	0	4	4	0	4	200%	3%
合計	8	3	11	118	129	0	129	86%	100%
前年比	73%	-	100%	85%	86%	-	86%		
構成比	6%	2%	9%	91%	100%	-	100%		

*相談等受付区分別件数 : 2024年4月~2024年5月累計

(件)

相談内容 相談者	相談内容						合計	前年比	構成比
	拡大 損害事故	非拡大 損害事故	損害事故 相談	一般 相談	相談 案件計	斡旋・裁定 案件			
一般消費者	14	10	24	177	201	0	201	100%	72%
事業者	0	0	0	2	2	0	2	40%	1%
行政	3	2	5	64	69	0	69	110%	25%
その他	0	0	0	8	8	0	8	400%	3%
合計	17	12	29	251	280	0	280	103%	100%
前年比	113%	1200%	181%	98%	103%	-	103%		
構成比	6%	4%	10%	90%	100%	-	100%		

※用語については次ページの説明を参照願います。

2. 主な拡大損害事故相談事例

- * [ヘアドライヤー] 1年半前にネットで購入したヘアドライヤーを使用していたところ、電源コード本体付け根部分から火花が出た後、発火。床に置いたところ、自然に火が消えた。クッションマットが3cmほど焦げた。メーカーに申し出たところ、まず、製品を引き取り、調査したいと言われた。メーカーが信頼できない。今後どのように対応すれば良いか。【消費者】
- * [換気扇] 6日前に築44年の戸建て住宅が全焼した。火災現場にて消防から2年前リフォームした際に交換した換気扇から発火した可能性があると言われた。換気扇は火災現場に残されたままである。火災保険の補償を受けられるが、建替えには不足である。今後どのように対応すれば良いか。【消費者】
- * [電気温風器] セラミックファンヒーターを使用中、製品内部から溶けたプラスチックが流れ出てフローリングが3cmほど焦げた。メーカーが製品を調査したところ、転倒OFFスイッチの接点部分の接触不良が原因とのこと。外力により接触不良となった可能性もあるため、修復費用の7割のみを補償すると言われた。全額を補償してもらいたい。がどのように交渉すれば良いか。【消費者】

3. 斡旋または裁定案件

- * 今月の斡旋または裁定案件の受付はありません。

<用語の説明>

- 損害事故相談：家電製品が原因と思われる損害事故に係る相談。
 - ・拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われ、生命や身体、財産等への被害が生じた事故に係る相談。
 - ・非拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われる事故であって、拡大損害が生じなかった事故に係る相談。
- 一般相談：家電製品に関する損害事故以外の問合せや苦情等。
- 斡旋・裁定案件：家電製品が原因と思われる損害事故により、当センターが斡旋または裁定の手続をした案件。
- 事業者：家電製品の製造、販売、輸入、据付工事または修理等を行う者及び企業等。
- 行政：消費生活センター、官公庁、自治体等の行政機関。